



2021年1月28日

各 位

会 社 名 株式会社フージャースホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 廣岡 哲也
(コード番号：3284 東証第1部)
問い合わせ先 経営企画室長 鳴神 吉朗
電 話 番 号 03 - 3287 - 0704

一部コミットメント型ライツ・オファリングの 資金用途の変更に関するお知らせ

当社は、2018年1月19日付「一部コミットメント型ライツ・オファリングに関するお知らせ」にて開示しました第2回新株予約権（以下「本ライツ・オファリング」といいます。）による調達資金の用途及び支出予定時期について、2019年4月1日、同年8月8日及び2020年5月14日に変更しておりましたので、下記のとおりお知らせいたします。開示が遅れましたことにつきまして深くお詫び申し上げます。

記

1. 本ライツ・オファリングに係る資金用途変更の理由及び内容

(1) 2019年4月1日付の変更

ア. 変更の理由

当社は、本ライツ・オファリングにより調達した135億円の資金のうち75億円を、2018年2月から2019年3月までの間に、ヘルスケア・リート事業展開の基盤強化のための投資に充当する予定でした。もっとも、当社は、ヘルスケア・リートの組成及び上場の時期に関する検討を進める中で、2020年3月までの組成及び上場を目指すことが現実的であるとの判断に至りました。そのため、2019年4月1日、上記75億円の支出予定時期が、ヘルスケア・リートの組成及び上場の時期の見込みに合わせて、2020年3月までに変更されることとなりました。

また、当社は、本ライツ・オファリングにより調達した135億円の資金のうち60億円を、2018年2月から2019年3月までの間に、エネルギー事業への事業投資としてのバイオマス発電設備の取得に充当する予定でした。もっとも、当社は、バイオマス

発電設備の稼働開始時期に関する検討を進める中で、2020年3月までの稼働を目指すことが現実的であるとの判断に至りました。そのため、2019年4月1日、上記60億円の支出予定時期が、バイオマス発電設備の稼働開始時期の見込みに合わせて、2020年3月までに変更されることとなりました。

イ. 変更の内容

資金使途の変更内容は、以下のとおりです。なお、変更箇所は下線で示しております。

(変更前)

具体的な使途	金額	支出予定時期
① ヘルスケア・リート事業展開の基盤強化のための投資	75億円	<u>平成30年2月～平成31年3月</u>
② エネルギー事業への事業投資	60億円	<u>平成30年2月～平成31年3月</u>

(変更後)

具体的な使途	金額	支出予定時期
① ヘルスケア・リート事業展開の基盤強化のための投資	75億円	<u>2018年2月～2020年3月</u>
② エネルギー事業への事業投資	60億円	<u>2018年2月～2020年3月</u>

ウ. 業績に与える影響

本件による連結業績に与える影響は軽微であります。

(2) 2019年8月8日付の変更

ア. 変更の理由

当社は、本ライツ・オファリングにより調達した135億円の資金のうち75億円を、2020年3月までの間に、ヘルスケア・リート事業展開の基盤強化のための投資に充当する予定でした。もっとも、当社は、2020年3月までのヘルスケア・リートの上場を目指し、上場時の市場動向及びアセットサイズの検討を進める中で、組成方針（スキーム）・時期の変更が企業価値向上につながると判断いたしました。そのため、当社は、2019年8月8日、ヘルスケア・リートについて、私募リートでの組成とし、組成時期を2021年3月までに変更いたしました。これに伴い、同日、上記75億円の支出予定時期が、ヘルスケア・リートの組成時期の変更に合わせて、2021年3月までに変更されることとなりました。

また、当社は、本ライツ・オファリングにより調達した135億円の資金のうち60億円を、2020年3月までの間に、エネルギー事業への事業投資としてのバイオマス発電設備の取得に充当する予定でした。もっとも、当社は、資源エネルギー庁によるFIT

における燃料調達についての見解を慎重に見極める必要があると判断し、2019年8月8日、エネルギー事業への事業投資の一環として匿名組合持分を取得したバイオマス発電所（神栖）の稼働時期を未定とすることを決定いたしました。これに伴い、同日、上記60億円の支出予定時期が、上記バイオマス発電所の稼働時期に合わせて、未定に変更されることとなりました。

イ. 変更の内容

資金使途の変更内容は、以下のとおりです。なお、変更箇所は下線で示しております。

(変更前)

具体的な使途	金額	支出予定時期
① ヘルスケア・リート事業展開の基盤強化のための投資	75億円	<u>2018年2月～2020年3月</u>
② エネルギー事業への事業投資	60億円	<u>2018年2月～2020年3月</u>

(変更後)

具体的な使途	金額	支出予定時期
① ヘルスケア・リート事業展開の基盤強化のための投資	75億円	<u>2018年2月～2021年3月</u>
② エネルギー事業への事業投資	60億円	2018年2月～未定

ウ. 業績に与える影響

本件による連結業績に与える影響は軽微であります。

(3) 2020年5月14日付の変更

ア. 変更の理由

当社は、本ライセンス・オファリングにより調達した135億円の資金のうち75億円を、2021年3月までの間に、ヘルスケア・リート事業展開の基盤強化のための投資に充当する予定でした。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の流行その他の経営環境の変化を受けて、当社は、2020年5月14日開催の取締役会において、ヘルスケア・リートについて、組成時期を未定とし、投資対象をヘルスケア以外にも拡大する等投資方針を見直すことを決議いたしました。

これに伴い、2020年5月14日付で、ヘルスケア・リート事業展開の基盤強化のための投資に充当予定であった上記75億円は、ヘルスケア以外のリート事業の展開にも充当されることとなり、かつ、支出予定時期は未定となりました。

イ. 変更の内容

資金使途の変更内容は、以下のとおりです。なお、変更箇所は下線で示しております。

(変更前)

具体的な使途	金額	支出予定時期
① <u>ヘルスケア・リート事業展開の基盤強化のための投資</u>	75億円	<u>2018年2月～2021年3月</u>
② エネルギー事業への事業投資	60億円	2018年2月～未定

(変更後)

具体的な使途	金額	支出予定時期
① <u>リート事業展開の基盤強化のための投資</u>	75億円	<u>2018年2月～未定</u>
② エネルギー事業への事業投資	60億円	2018年2月～未定

ウ. 業績に与える影響

本件による連結業績に与える影響は軽微であります。

2. 適時開示における今後の体制について

今般の資金使途の変更に関する開示は、資金使途の変更があった際に実施するべきでしたが、当時の各変更の重要性についての認識に齟齬があり、その後本ライツ・オフリングによる調達資金の検証を行った際に、資金使途の変更を開示する必要があるとの認識に至ったことから、お知らせが遅くなってしまいました。

今般の開示遅延を受け、今後は適時開示体制について、主に以下の整備を進め、運用を行うことにより、適切な開示を行うよう、努めてまいります。

- ① 適時開示に関する規程・マニュアル等の整備
- ② 適時開示を行う必要がある事象について、適時開示業務の担当部署への報告の周知徹底
- ③ 運用状況の定期的な確認

以 上